

情報教育システムの BYOD (持込みパソコン) の利用について

サイバーメディアセンター情報教育システムでは、BYOD (持込みパソコン) で情報教育端末の仮想デスクトップを使用できます。自分の Windows や MAC のパソコンから情報教育の授業を受けたり、自宅のパソコンで情報教育端末のソフトウェアを利用できますので、自学自習にご利用ください。

自分のパソコンで情報教育システムの仮想デスクトップに接続するには、以下のソフトウェアを事前にインストールしてください。

- ・キャンパスクラウドエージェント (Windows 用です。)
仮想デスクトップの予約を自動で行うためのソフトウェアです。
- ・VMWare Horizon View Client
仮想デスクトップを利用するのに、必須のソフトウェアです。

1 キャンパスクラウドエージェント

1-1 キャンパスクラウドエージェントのダウンロード

- ①ブラウザで大阪大学 CLE <https://www.cle.osaka-u.ac.jp> にログインします。
※Internet Explorer、Edge を使用するとダウンロードでエラーの発生することがありますので、他のブラウザを使用してください。
- ②新しいタブを開き http://www.cmc.osaka-u.ac.jp/edu/ecs_download.html にアクセスします。
※①と②は同じブラウザで表示してください。
- ③「エラー」が表示されたら、左側メニューの「登録」をクリックします。
(注1) 初めてアクセスしたときは、「登録」が必要です。



- ④「自己登録」の画面が表示されたら、画面右下の「送信」をクリックします。




- ⑤「アクションが完了しました：成功」が表示されたら、画面を下にスクロールし、画面右下隅の「OK」をクリックします。



- ⑥Windows 用または Mac 用のキャンパスクラウドエージェントをクリックしてダウンロードしてください。



- ⑦ダウンロードしたキャンパスクラウドエージェントをパソコンに保存します。
⑧画面の右上の  (ログアウトボタン)を押して CLE をログアウトします。

1-2 キャンパスクラウドエージェントのインストール
(Windows パソコンでの手順を説明しています。)

①ダウンロードした「キャンパスクラウドエージェント」をダブルクリックしてインストールを開始します。なお、インストールは管理者権限のあるユーザで行ってください。(管理者権限のユーザでログオンするか、ファイルを起動するときに管理者で実行してください。)

②「次へ」をクリックします。



③インストールフォルダの選択です。通常は「次へ」をクリックします。




- ④「接続サービスの設定」の画面で、「利用サービス先 URL」に、
<https://campuscloud.ecs.cmc.osaka-u.ac.jp/> を入力し、「次へ」をクリックします。



- ⑤インストールの確認で「次へ」をクリックします。



- ⑥インストールが完了したら画面を閉じます。デスクトップに「TCAgent」 のアイコンが作成されます。



2 VMWare Horizon View Client

2-1 VMWare Horizon View Client のダウンロード

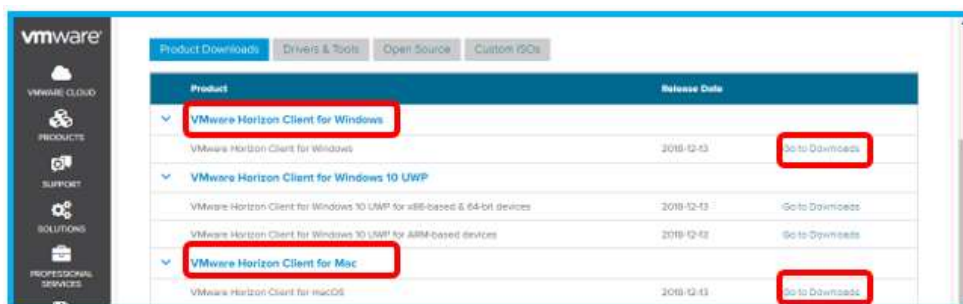
- ①ブラウザで <https://campuscloud.ecs.mmc.osaka-u.ac.jp/ccuser/userLogin.do> にアクセスします。
- ②大阪大学個人 ID とパスワードを入力しログインします。



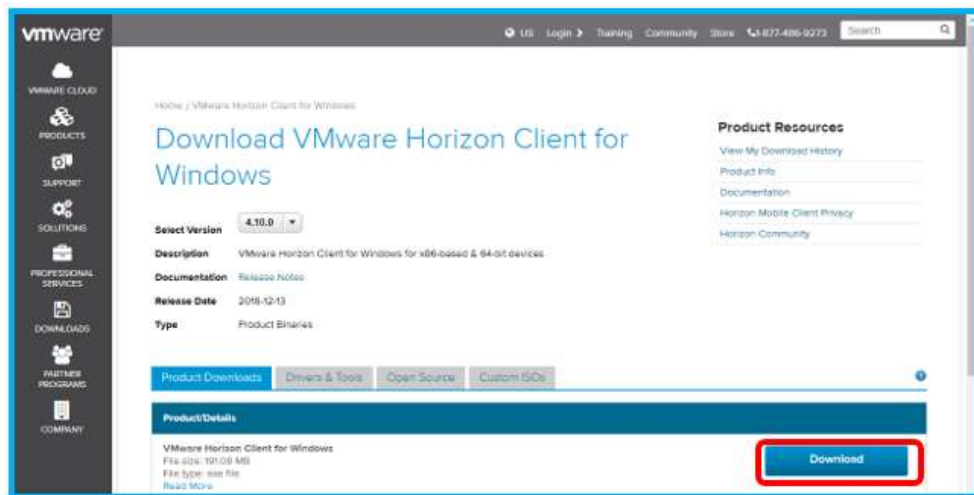
- ③画面左側の「View Client」をクリックします。



- ④「Download VMware Horizon Clients」の画面になるので、パソコンの OS に対応した、VMware Horizon Client の「Go to Downloads」をクリックします。
(注 1) Windows の方は「VMware Horizon Client for Windows」の「Go to Downloads」をクリックします。
(注 2) Mac の方は「VMware Horizon Client for Mac」の「GO to Downloads」をクリックします。



- ⑤クリックした OS の VMware Horizon Client のダウンロード画面になるので、「Download」をクリックします。



- ⑥ダウンロードした VMware Horizon Client をパソコンに保存します。

2-2 VMware Horizon View Client のインストール (Windows パソコンでの手順を説明しています。)

- ①ダウンロードした VMware Horizon View Client をダブルクリックしてインストールを開始します。なお、インストールは管理者権限のあるユーザで行ってください。(管理者権限のユーザでログオンするか、ファイルを起動するときに管理者で実行してください。)

- ②「同意してインストール」をクリックします。



③インストール中になります。



④インストールが完了したので「終了」をクリックします。




⑤パソコンを再起動すると設定変更が有効になりインストールが完了します。



3 キャンパスクラウドエージェントでの仮想デスクトップ接続（自動予約）

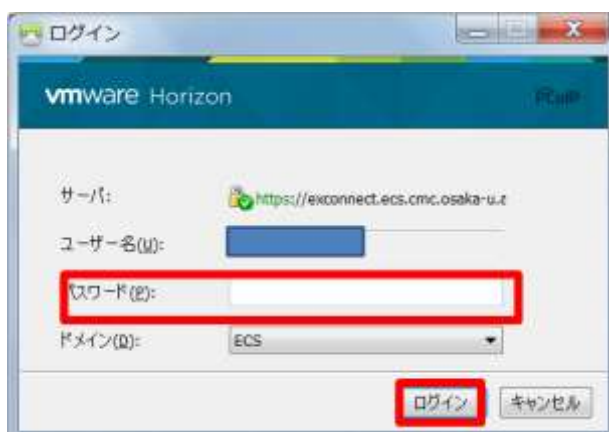
※MACの方は使用できませんので、4のWeb手動予約を使ってください。

① キャンパスクラウドエージェント  をダブルクリックで起動します。

② 「大阪大学 情報教育システム」のログイン画面が表示されるので、大阪大学個人IDとパスワードを入力します。

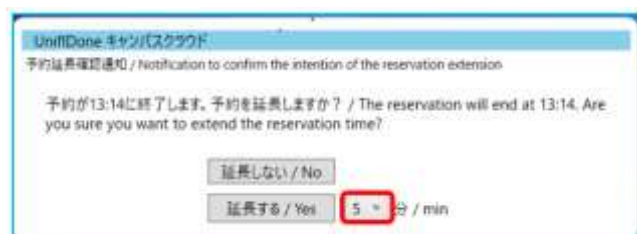


③ 「Vmware Horizon」の画面で大阪大学個人IDのパスワードを入力します。



情報教育端末の仮想デスクトップがパソコンに表示されれば接続完了です。

※キャンパスクラウドエージェントでの自動予約では、仮想デスクトップの予約時間は1時間30分に固定されています。利用開始から1時間30分後に以下のような「予約延長確認通知」の画面が出力され、何もしないと利用が終了します。予約を延長する場合は、画面の「延長する/Yes」の横の延長する時間を選択し、「延長する/Yes」をクリックすると延長して利用することが可能です。（予約延長した後に「延長申請中にエラーが発生しました。」のエラーが出力されますが、システム内のエラーですので無視してください。）



4 VMware Horizon View Client での仮想デスクトップ接続 (Web 手動予約)

- ① ブラウザで <https://campuscloud.ecs.cmc.osaka-u.ac.jp/ccuser> にアクセスします。
- ② 大阪大学個人 ID とパスワードを入力しログインします。

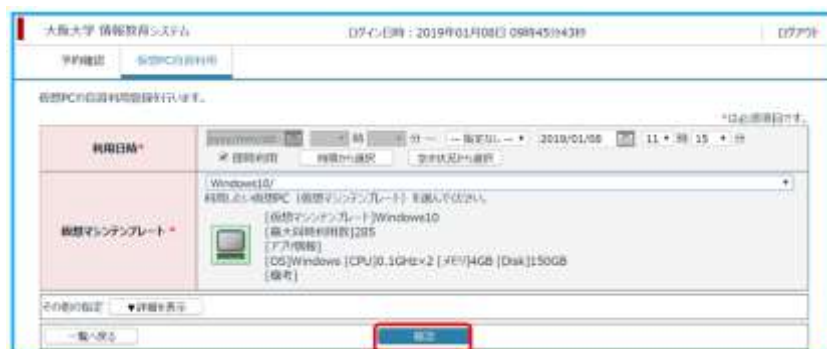
- ③画面上のメニューから「仮想 PC 自習利用」をクリックします。

- ④利用日時は「即時利用」になっていますが、日時を指定する場合は「即時利用」のチェックを外し、利用日時を指定します。

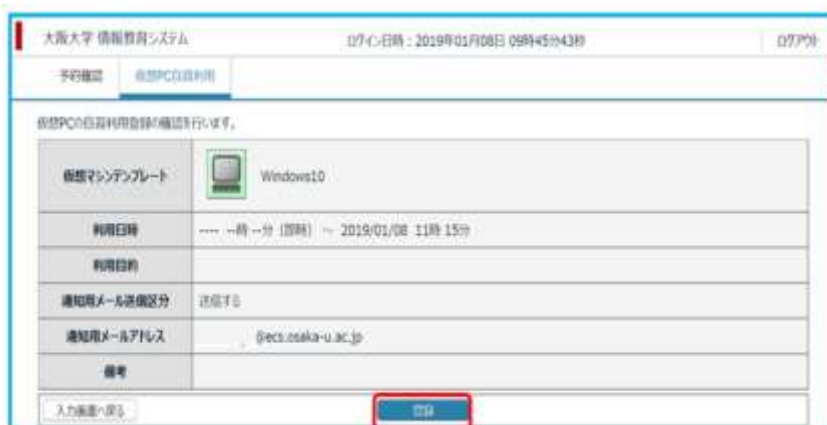
- ⑤ 「利用したい仮想 PC（仮想マシンテンプレート）を選んでください。」のセレクトボックスから「Windows10」を選択します。「Windows10」以外を選択すると仮想デスクトップを利用できません。



- ⑥ 「確認」をクリックします。



- ⑦ 「登録」をクリックします。



⑧ 「更新」 をクリックします。



⑨ 「状態」 の●が青色になってから、●をクリックすると行全体が青色になります。



⑩ 「接続」 をクリックします。



⑪ connect.bat ファイルをダウンロードし、ダブルクリックで起動します。

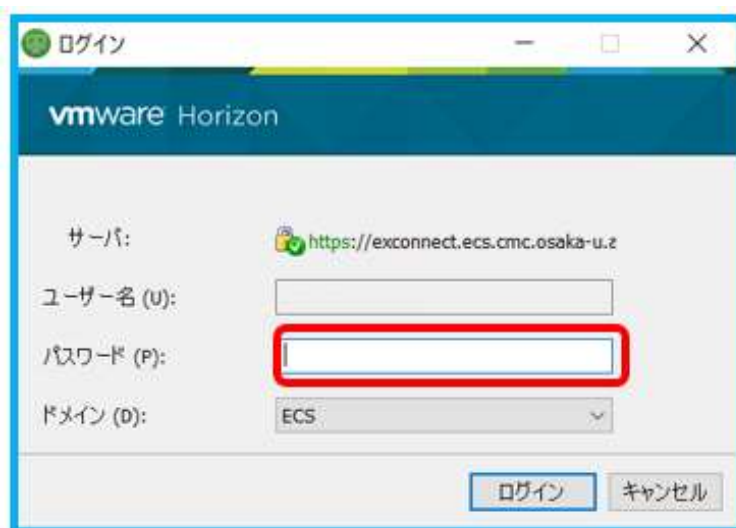
※以前ダウンロードした connect.bat ファイルから起動することも可能です。

⑫セキュリティソフトの警告が表示された場合は無視して実行します。

(注) セキュリティソフトにより警告画面が異なりますが、Windows10 にインストールされている Windows Defender の場合は「詳細情報」をクリックし「実行」をクリックします。



⑬VMWARE horizon のログイン画面が表示されたら、大阪大学個人 ID のパスワードを入力します。



情報教育端末の仮想デスクトップがパソコンに表示されれば接続完了です。

【補足】ネットワークへの接続

情報教育第1～第5教室には、BYOD用の無線LANが用意されています。利用方法については [こちら](#) をご覧ください。

情報教育教室以外で利用される場合は、自宅のネットワーク、ODINS無線LAN等に接続してください。ODINS無線LANの使い方については、[こちら](#) をご覧ください。